

第5回 西尾市総合計画審議会

日 時：令和4年9月15日（木）10：00～11：40

会 場：西尾市役所 51 会議室

次 第

1. 会長あいさつ
2. 議題
 - (1)第4回審議会（書面）の意見対応について
 - (2)西尾未来づくり会議（市民参画）の意見対応について
 - (3)その他意見反映・修正について
3. その他

配布資料

- 資料1 にしお未来創造ビジョン（第8次西尾市総合計画）（素案）
 資料2 第4回西尾市総合計画審議会 意見対応
 資料3 西尾未来づくり会議 意見対応
 資料4 意見反映・修正について

委員

出席

氏名	団体名	氏名	団体名
武内 基亘	西尾市教育委員会	石川 貞夫	西尾市社会福祉協議会
外山 好一	西尾市農業委員会	井関 公宏	西尾市老人クラブ連合会
杉浦 明博	西尾市国際交流協会	千頭 聡	大学教授
黒野 太郎	西尾青年会議所	古居 節男	一般公募
手島 とし子	ばらネット	朝岡 英雄	一般公募
中村 行男	西尾市障害者福祉団体連合会		

欠席

氏名	団体名	氏名	団体名
黒田 哲也	西三河漁業協同組合	辻村 和敏	西尾市スポーツ協会
四方 敦	西尾市医師会	鳥山 欽示	西尾市観光協会
小田井 博茂	西尾商工会議所	植田 康裕	西尾市子ども会育成連絡協議会
齋藤 種治	西三河農業協同組合	加藤 智子	西尾環境市民塾
杉田 愛次郎	西尾市文化協会		

敬称略

傍聴 0名

開会

発言者	内容
事務局	おはようございます。定刻になりましたので、第5回総合計画審議会を開始します。今日は、9名の委員がご欠席されていますが、委員の半数が出席していますので、会議は成立していることをご報告します。では、会長よりあいさつをお願いします。

1. 会長あいさつ

発言者	内容
千頭会長	前はタイミングが悪く、書面開催でした。難しい状況でしたが、書面開催で、逆に皆さんからたくさん意見をもらいました。できる限り受け止めながら修正したと思うので、後ほど説明を聞いてご指摘いただければと思います。実質的に議論できるのは今日が最後の回となっています。パブリックコメントの後、あまり時間をおかずにお返事となりますので、よろしくお願いします。
事務局	では以降は、会長より進行をお願いします。

2. 議題

(1)第4回審議会（書面）の意見対応について

発言者	内容
千頭会長	議題は3つ、第4回審議会の意見対応、西尾未来づくり会議の意見対応、その他の意見反映・修正についてです。とにかく前回の案から各方面の議論を受けてバージョンアップしたものが今日の資料となります。資料の説明は3つの議題まとめてお願いします。では、事務局から説明をお願いします。
事務局	事務局より資料説明。
千頭会長	はい、ありがとうございました。ご意見をいただいたので、反映できる部分は反映しています。議論の進め方として、議題として3つあるので、議題ごとに議論がいいと思います。ビジョン全体を見直したので、中身によっては、議題の1、2、3が一緒になるかもしれません。資料2の説明も貰いました。ビジョンには黄色部分で修正されています。この件についてご意見はありますか。ワクワク戦略は資料の説明は最後になりますが、横をつなぐような内容を書いて、地域共生の視点を入れた、とのことでした。
朝岡委員	地球環境のところ、メガソーラーについて、日本ではどこもやっていませんが、誘致する場合にデポジットをとってはどうか。メガソーラーを交換するときに、企業が倒産などして無くなってはいけなくて、それなりの保証をとって、逃げられないようにしておく。交換する時期がきたとき、計画的に倒産されないようにしてもいいと思います。
事務局	愛知県と連携して進める、とのことなので、担当課に、デポジットの情報を提供します。
千頭会長	メガソーラーの撤去問題は、他にも問題になっており、最終的な撤去費用をあらかじめ取っておけないのか、といった議論をしたことがあります。しかし、現実的にメガソーラーだけに適用することができないといったことでした。撤去するメガソーラーは産廃になるので、撤去費用や廃棄する費用を会社が負担できないケースもあります。現実的には難しいとのことでした。
手島委員	資料2の「健康をつなげる幸せがつながるまち」の対応策で、「高齢者や障害者、子どもなど分野を横断するため」の横断のイメージがわかりにくい。高齢者や障害者、子どもの分野

発言者	内容
	は専門性の高い分野なので、専門性の高い人を配置することが重要と思います。ビジョンでは「定期的に庁内会議を開催」という内容で、それでは専門性の高い人の配置をイメージしにくいです。対応できる人材を育成するといった内容を盛り込んでもらえると安心できます。
千頭会長	分野横断という表現が適切なかどうか、ということと、対応の中身が適切かどうか、ということでした。
事務局	来年度から重点的に居場所づくりとして取組を強化するところであり、ゼロからのスタートとなります。ビジョンでは、庁内調整会議で連絡調整を行い、柔軟に対応していきたいと考えて記載しています。専門人材の育成は大切な視点なので、それを取り入れて進めていきたいと思っています。
事務局	人材育成に関して、この内容は、主に長寿課や福祉課が担当しています。職員の専門性として、精神保健福祉士とか社会福祉士といった資格を持っている人を職員として採用し、配置しています。資格を有していない職員とも情報共有して、ノウハウを生かしていきたいと考えています。今後この部門は重要視すべきで、精神保健福祉士や社会福祉士、臨床心理士も計画的に採用するので、そういった面で人材育成が図られると思います。
千頭会長	西尾市では、スクールソーシャルワーカーはいないのでしょうか。
事務局	正規職員ではなく、再任用で設置していたと思います。

(2)西尾未来づくり会議（市民参画）の意見対応について

発言者	内容
千頭会長	ありがとうございます。他はどうでしょうか。では、後ほど、全体を通して意見を頂くとして、未来づくり会議でいただいた意見の対応が資料3になります。資料3について意見はありますか。Cチーム「子育て世帯を救え」で、習い事拠点の集約とありますが、放課後子ども教室などで、その中で実質的に対応するとかの議論はあったのでしょうか。
事務局	そこまでの議論にはなっていません。ファミリーサポートセンターの話になり、実際にそこでの依頼は送迎が大多数を占めており、需給バランスが取れていないとのことでしたので、長期的な視野で進めていきたいと考えています。また、全国的には、民間事業者と連携協定を結んで進めているようなところもあると聞いています。その一方、習い事は、各個人、各家庭の裁量でやっている面もあるので、そこに市としてどこまで取り組むのか、といった面もあり、その辺を見極めながら進めていきたいと考えています。
千頭会長	習い事と言うと趣味のように聞こえますが、言い方を換えてみると、さらなる学習と見ることができるかもしれません。小学校の部活がなくなり、スポーツを地域で見る必要もでてきます。スポーツにも格差が出てくるかもしれません。
武内委員	会長が言われるように、部活がなくなりスポーツでも格差が出てくるのではということ議論しています。送迎コストについては、土日の部活動は2年後に完全になくなるので、ニーズが出てくると思いました。
千頭会長	他はどうでしょうか。
朝岡委員	Bチームの学校の提案は素晴らしいと思いました。この提案の学校の中で、小学生が誰も答えられないものを勉強させるのもいいと思います。間違ったらどうしよう、ということをおそれる子どもがいるので、皆がわからない問題を解くことで、自分の意見を言うことができ、自主

発言者	内容
	性のある子どもが育つと思います。知恵は知識の中からは出でてこないもので、知識を詰め込むのもいいと思います。自分の好きなことから始めて、興味を持ってもらうのもいいと思います。私も英語が喋れませんでした。英語が必要になり喋れるようになりました。部活とかも、スポーツも学校以外で、やりたいスポーツがあれば、やれる環境があつて、素晴らしい選手が育てばいいと思います。その面からもみんなの学校はいい提案だと思います。
千頭会長	農福連携も、愛知県は先進的などころなので事例があります。案内人もいいアイデアです。実際にどう育てるかは課題だと思います。
手島委員	未来づくり会議からの提案は素晴らしいのですが、ここにはない意見を提案したいと思います。子どもたちが、地域活動に自主的に参加して、その地域の役に立つ、という意識、皆で助け合っていくという意識を育てるには、学校と地域の連携が大事だと思います。具体例として、豊田市で、小学生の頃からボランティアで地域の手伝いをするのが当たり前という教育をしています。視察に行った際、公民館で活動しているクラブが発表するときに、重い楽器を運んだり、司会や片づけを中学生がやっていてびっくりしました。聞いたら先生に言われた訳でなく、自分たちがやりたいから来たとのこと。地域の母親に聞いたら、学校に活動内容の貼紙があつて、自分たちでここを手伝おうということでした。そのような心が自然に育って、芽生えていて感動しました。豊田ではスクールソーシャルワーカーが各学校に入っていて、地域と学校とどのように関われるかを考えて活動しています。そうすると、小さい頃から、地域に役に立つことが当たり前となり、助け合い、素晴らしい人間に育っていきます。ですので、このビジョンの中に、地域活動に子どもが自主的に参加できる内容があるといいと思います。
千頭会長	西尾市でコミュニティスクールの取組を進めているところはあるのでしょうか。
武内委員	自主防災会は学校と地域で連携してやっているところはあります。
千頭会長	豊田市では小規模校は、地域と学校が一体となって活動しています。素晴らしい事例です。
事務局	資料1の70頁、学校教育の指標として、スクールカウンセラーなどの配置数を設定しており、子どものケアをするようにしています。豊田市の例は、市内では佐久島で似たような感じで活動しています。佐久島は過疎地で中学生が主体的に活動しています。そのようなことが西尾市全域に波及できるように担当部署に伝えます。
井関委員	教えてほしいのですが、資料3のGチーム、「しあわせのわくわくパレットテラス」は、駅周辺の活用に関する提案で、対応欄に「駅前にパレットを試験的に設置しています」とありますが、どのようなことを実施しているのでしょうか。
事務局	西尾駅の東側に出ただくと、そこに木製のパレットが置かれています。提案された方が、建築系の女子大生で、お金をかけずに座れる場所、簡易的なものがあればいいということで、駅前を管理しているのが、公園緑地課で是非やろうとなつて、2か月前に設置しました。一度行く機会があつたら見てもらえればと思います。何に使ってもいいので、見てもらえればと思います。これがうまくいけば、広げていきたいと考えています。
井関委員	駅周辺の環境づくりは大切です。教育委員会がやっている中学生の模擬議会で、駅周辺のまちづくりに触れていた生徒もいて、駅と駅周辺の環境づくりは、まちの看板でもあるので、西尾のまちづくりをしていく上で、西尾と感じられる環境づくりは大切だと思います。老人クラブでも、にしがま線のはず夢健康ウォークとか実施しています。駅周辺の環境づくりは必要と思っています。

発言者	内容
千頭会長	ありがとうございます。機会があれば見に行きたいと思います。
武内委員	Fチームの「しあわせの糸プロジェクト」はすごいと思いました。学校訪問に行くと、生徒の自己肯定感が低く、大半がネガティブな現状があります。しあわせの糸プロジェクトは幸せ感を感じるのが大切だと示しています。活動内容で、プラットフォームを構築・運営するとありますが、ビジョンの文章では、受付を作っただけでプラットフォームまで出来ているかが明確ではありません。もう少し、自由な感じで、問題のある子どもや市民がインターネットやSNSとかで問い合わせして、解決をするといった内容を記載してもいいのではないのでしょうか。西尾市でやっているコンパスも幸せ感を作っていくような意味があるので、それとのつながりを示した方がわかりやすく、いいのではないのでしょうか。
千頭会長	事務局から何かありますか。
事務局	居場所づくりのプロジェクトは、ゼロベースで始めるものであり、手探り状態です。最終的には委員の意見のようにもっていきたいと思いますが、総合計画に具体的に書きすぎると、それに囚われすぎてしまうので、担当者間で情報共有し、西尾市のオリジナルな方向性を決めることが出来ればいいということで、連絡調整会議をスタートとしています。連携強化については、武内委員からの情報も提供していきます。あと、補足説明として、KPIとして、居場所の数を設定していますが、国の調査で自分の部屋など6つの居場所を上げた中で、居場所と数が多いほど生活が充実していると感じる人も多いため、指標として設定しています。

(3)その他意見反映・修正について

発言者	内容
千頭会長	次に、その他の意見対応として、資料4があります。この中で何かご意見はありますか。これから大事なのは、ワクワク戦略を、みなさんがワクワクするように語れるようにしないといけないですね。
朝岡委員	もっとワクワクするまち、ワクワクって何だろうと思います。思うに子どもたちが夢を持てる、西尾市だったら夢に挑戦できるといった教育、子どもに自信を付けさせる場を設けるとか、苦手なことを補足するのではなく得意なことを伸ばす教育をしていき、子どもが夢を持るといいと思います。ワクワクはもっと具体的なこと、こんなサポートをすると書いた方がいいと思います。
千頭会長	ワクワクは人によっていろいろなワクワクがある筈なので、それをもっと探そうというのもいいと思います。
事務局	人によってワクワクすることは異なります。どうしたらワクワクできるのか、というと、心にゆとりがあり、豊かな暮らしがあって、はじめてワクワク感が出ると思います。そのために、行政は市民サービスを向上させ、豊かな暮らしを送れるようにしたい。そのためには、税収増が必要だし、人口増も必要といったことにつながります。
事務局	基本構想の中で、まちづくりの視点として4つあげています。これはワクワクの視点として捉えています。ワクワクは人それぞれ違うと思いますが、まちづくりに関わることでワクワクできるのではないかと考えています。
外山委員	農協と連携して小学校で食育の取組をしています。5年生を対象としており、その時の子どもは活気があり、ワクワクしている感じがします。普段は見る事が出来ない、生き生きとして

発言者	内容
	います。いろいろな体験をさせることが、人生経験の一つになるので、そんな体験をできる環境を整えてもらえるといいと思います。そうするともっと良くなると思います。
千頭会長	西尾市では、お茶摘み体験を1年に1回、やっていたと思いますが、それも西尾のいいところだと思います。
石川委員	ビジョンは随分良くなったと思います。違和感があるのがワクワク戦略です。ここだけ関連する主な課が記載されており、基本計画には、担当部署が書いていないのがアンバランスだと思います。ワクワク戦略の居場所づくりなどでも、皆さんからいろいろな意見がでていますが、主な課を記載することで、担当課を限定することにつながり、範囲を狭くしている気がします。どこの分野にも広がるものではないでしょうか。課を限定することで内容も限定され、ワクワク感が消えていないでしょうか。ワクワク戦略、基本計画の両方に課を入れるか、両方とも外すのか。担当課を限定しない方が広がりがあるってワクワクするのではないのでしょうか。
千頭会長	ワクワク戦略だけ担当課を記載した理由を事務局からお願いします。
事務局	ワクワク戦略に記載して基本計画に記載しなかった理由としては、基本計画では、概ね施策ごとに担当課が決まっており、比較的担当課がわかりやすいため記載していません。ワクワク戦略は、いろいろな課に跨っているため記載しています。市民目線の貴重なご意見なので、パブリックコメントまでには検討したいと思います。
事務局	ワクワク戦略に主な課として記載していますが、担当課を限定しているイメージを持たれるのであれば、注釈で担当を限定していないといった内容を入れることもできます。
石川委員	今の資料でも、すべての担当課の欄に「など」を入れているので、オール西尾市でやっていこうということなので、必要ないのではないのでしょうか。
千頭会長	思いは同じだと思うので、どのように表現するかは検討してください。私も書いてあるのは、あなたの課が関わっているのですよ、というのを分かりやすくするためと感じました。プロジェクト方式でやる場合にどう表現するかは事務局で検討してください。全体を通じてでもいいのでご意見はありますか。本日の意見を踏まえ、微修正してパブリックコメントとなります。
黒野委員	ワクワク戦略で、世代別のワクワク戦略の考え方は入れられないのでしょうか。10代は、西尾市で活躍している人たちの情報を募集して配信するとか、小学生でもスマホを持っている時代なので、同世代の頑張りがわかれば自分でもやってみたいと思うかもしれません。世代別に活躍している情報を発信することで、ワクワクのネタを増やせるのかもしれない。世代別の考え方を入れてもいいと思います。
手島委員	個人的な意見として、将来都市像で、若者を誘致するのが大事だと思います。何十年も前に西尾に大学を誘致する話がありましたが、いつの間にかなくなりました。学ぶ楽しさを若者に経験してもらうには、西尾にも大学があるといいと思います。都市像に大学誘致は入っていないのでしょうか。企業誘致は一生懸命やっていますが、若者への誘致の方法を考えてもらえるといいと思います。
武内委員	31頁に「住みたいまちと思いますか」のKPIがありますが、目標値が65%というのがワクワクしません。西尾市はこんなにいいまちなのに、なぜ市民はその認識が少ないのかと思います。幡頭神社も佐久島もいいところはたくさんありますが、訪れているのはほとんどが県外の人です。いいものを西尾市として市民に提供する情報ツールが少ないのではないのでしょうか。

発言者	内容
	その辺がワクワクできない要因となっていると思うので、ツールを提供することも計画に入れてもらえるといいと思います。65%の数値がワクワクしなさすぎると思います。
事務局	KPIについては、今回、市民1,000人を年代別に無作為で抽出してアンケートした結果です。世論調査でもやっていないので、目標が65%の根拠も薄いのですが検討します。
事務局	<p>市政世論調査の同様な質問の傾向として、合併後、住みやすいまちと思う人は、一旦、割合が下がって直近の調査では回復しています。合併から11年経ったからとも思います。65%が妥当かどうかは検討します。</p> <p>市民に年代別に情報提供するツールが必要、との意見については、シビックプライドの醸成の一環であると考えます。</p>
事務局	世代別のワクワク戦略を、との意見について、世代別としては、ワクワク戦略のテクノロジーの内容で、老若男女に対応できるようにしており、世代別としています。世代別に個別具体的な記載をすると、施策が限定される恐れもあるため、参考とさせていただき、全ての世代でワクワクできるように取り組んでいきます。
事務局	大学誘致については、旧井桁屋でサテライトキャンパスを設置する検討が以前ありましたがなくなりました。それ以降、大学の誘致はありません。総合計画にないから誘致しないという訳でもないので、柔軟に対応できればと思います。
杉戸専門委員	学生が減少していくなか、大学誘致は難しいので、大学に拘らず、教育機関、専門学校とかの機能を拡充していくこともいいと思います。大学と連携して授業するとか、学生が地域に入って一緒にやる、中心市街地で学生と一緒にやっていくという事例もあるので、学生との連携といった取組のなかでやっていければいいと思います。
千頭会長	東海市には、市内に日本福祉大学の東海キャンパスと星城大学の2つあります。東海市ではまちづくり推進事業という助成金事業をやっており、学生や我々が提案して助成金を貰って活動しています。中津川市では、他の地域の学生が地域づくりに関わると1団体最大10万円の域学連携の補助事業があつて、ゼミ生が利用して活動してたりします。大学は子どもが減っており、都心回帰する傾向にあります。
朝岡委員	大学誘致の代わりが、まちのみんなの学校づくりで、そこで専門的なことを専門的な人から学べる、大学に行かなくても、高等教育を教わることができるまちでもいいと思います。私のところに静岡の整備士専門学校から学びにきて、学校よりも現場で教えてもらう方が勉強になると言われます。学校にいる人は最前線にいないのでわからない。自動車でいうと、動くエンジンをばらして組んでも動くのは当たり前です。動かないものを動かすようにする勉強はしません。どう動いたら安全なのか、安全に動かすためにはどうすればいいのか。ゼロから車を作った人ならわかりますが、そうでない人にはわかりません。私は、リチウムイオン電池のテストの経験もあり、危険性もわかっています。大手メーカーは知っていることですが、実験を体験してもらい、充電中に火がでるのは、酸化し摩擦して火が起こるから、といったことを経験してもらったりしています。これをメーカーは言わない。コバルトリチウムイオン電池を作っているのは日本と韓国だけ。それは火が出るからです。メーカーが公表しなければ先生もわからないけど、現場を見ればわかります。まちのみんなの学校で専門的なことを学べるといいと思います。

発言者	内容
千頭会長	市民活動への助成金は西尾市にあるのでしょうか。会社員がそのまま利用すると問題があるかもしれないので、市民団体として活動する際に助成金を使うことも考えられます。
榎野専門 委員	個別のことを細かく書きすぎると総合計画でなくなると思います。それに結びつく内容、雰囲気があり、それが個別計画につながっているか事務局を中心にチェックするのが大事だと思います。委員の言われた専門性の知識の提供は事務局に伝わったと思うのでいいと思います。会長が言われた企業との関連は、積極的に企業に働きかければ、例えば、刈谷では、発明協会に知識のある人を派遣しています。その地域のシルバーとしてのやりがいにもなるので、そのようなことが文章として読み取れそうであれば、事務局でその内容を受け止めてもらえれば施策の展開につながると思います。
千頭会長	毎年、策定する3か年の実施計画で具体化してもらえるといいと思います。
中村委員	合併して11年経っても、目立った変化が見られません。西尾市の場合は、農業も工業も商業もバランスがいいと思いますが、隣接する岡崎や安城に比べると元気がない気がします。住みやすい、住んでみたいかと思うと、交通利便性もあまりよくない。矢田地区が区画整理して大きなまちづくりとして成功していると思います。58頁をみると、区画整理を考えているようですが、どこを手掛けているのでしょうか。
事務局	国森、上矢田北部、天神前、西尾西山です。ほかにも設立されそうところが寺津にあると聞いています。それで5か所になると思います。区画整理は人口増の大きな施策になるので都市計画と相談しています。
中村委員	土地を造成することでまちが元気になるので、いい方向で考えてほしいと思います。
古居委員	会議の度に、まちづくりの根幹である区画整理のことを言ってきました。西尾市が住宅地として評価されていないのは、道路幅が狭いところとか、昔の土地改良の頃のままの幅員の道路であったりするからです。刈谷市で公共団体施行による区画整理をやってきました。まちの発展は区画整理です。今回、総合計画では思いが叶わなかったなので、別の機会のたびに、西尾市がどうしたら発展するかを訴えていきたいと思います。
杉浦委員	私は自動車の部品を作っているメーカーです。自動車は3～4万点の部品があり、修理が出来るようになっていきます。西尾は特に、二次メーカーの多い地区と思っています。いろんな働き手が出て、いろんな業をなしていく。もっとターゲットをはっきりして先に進めていく必要があります。それが将来を担う核になると思います。車がこの先、どうなるか分かりません。空を飛ぶ車もでてきています。新しいことがでてくる中で地域が如何に関わっているかが大事なので、われわれも積極的に関わっていききたいと思います。
千頭会長	本日の意見は、施策を具体的に進める上で大事な意見をいただいたと思います。実質的な議論は今回が最後の回なので、今後のスケジュールを事務局から説明をお願いします。
事務局	意見を踏まえ修正して、10月5日に議会に報告し、翌日6日から11月4日までパブリックコメントを実施します。その後、最終案を、次回の審議会でお示しし、答申を頂く予定です。次回の審議会は、11月8日火曜日の10時を予定しています。市長も出席する予定です。開催通知は改めて送付します。
千頭会長	今日出た意見を踏まえて、ビジョンを修正するところがあると思うので、その修正は、私と職務代理者藤委員、事務局に一任してもらいたいと思いますが、よろしいでしょうか。ありがとうございます。パブリックコメント前には、修正した内容を委員にお送りして、パブリックコメ

発言者	内容
	<p>ントを受けて大きく修正することはないと思いますが、修正する必要があるれば修正します。11月4日までパブリックコメントして、8日に審議会です。それまでに市長への答申案を作る必要があります。付帯事項をいくつか書くタイプが多いと思いますが、答申案を作成し、事務局から審議会前に委員に配布し、事前に意見を伺って、審議会で答申するといったことよろしいでしょうか。進行を事務局にお返しします。</p>
事務局	<p>パブリックコメント案、答申案とも、委員の皆様にお送りするようにします。以上で第5回審議会を終わります。ありがとうございました。</p>

以上